

ほほえみ

第29号 2013年12月発行



独立行政法人 国立病院機構
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1
TEL (0767) 53-1890 (代)
FAX (0767) 53-5771
ホームページ <http://www.nanao-hosp.jp/>



「雪の妙観院」橋本義則（七尾美術作家協会会員）

私達の信条

私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
私達は、国の担うべき医療を提供し、地域に親しまれる病院を目指します。
私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
私達は、医療の進歩に貢献するために臨床研究を推進します。
私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

目次

定年退職にあたっての想い	2
1階病棟 花火大会	3
秋を楽しむ会が開催されました	4
第5回西湊地区健康教室を開催して	5

定年退職に あたっての思い



総看護師長 北川 芳 美

七尾病院への就任の挨拶をさせていただいたのが平成23年の春でした。それから3年間、総看護師長として務めさせていただきました。平成26年3月いっばいで定年退職を迎えることになりました。

看護の責任者として病院内の職員のみなさんをはじめ、七尾病院を愛してくださる患者さんやご家族、そして地域のみなさんに「やっぱり七尾病院はいいぞ」と思っていただけです。ようにと頑張ってきた所存です。が、その通りの結果を残せたかどうかは疑問符(?)です。

でもみなさんには「本当によく、助けていただいたナー」と感謝しております。みなさんの「心強い協力」という後押しがあったからこそ、あの病院への急な坂道も歩いて登ることができたと思います。

七尾病院の看護は患者さんやご家族の思いを大切に、患者さんの心の声を聞き取れるような看護を提供したい、そのために看護職員のみなさんにはあけても暮れても、「心に寄り添う看護」の実践をお願いしてまいりました。おかげさまでその成果は少しずつ感じております。患者さんやご家族のみなさんにも七尾病院での看護をご理解いただいているように思います。でもまだまだ七尾病院の真の実力はこんなものではないと思っております。今後ますます「七尾病院の看護」に磨きをかけていただけることを期待しております。

3年間の中でも、みんなで協力して取り組んだ公開講座やふれあいイベントなどで地域のみなさんに喜んでいただけたことが大変うれしい思い出です。今後とも地域のみなさんから選ばれる「七尾病院」を目指していただけたらと願っております。

定年を控え、机の横の窓から四季折々の景色を眺めながら「来年の今日はこの景色が見られない」と思うとさびしくなりますが、今まで支えてくださったみなさんへの感謝の気持ちを胸に、次の方に繋がりたいと思っております。

今後の七尾病院の繁栄とみなさんのますますのご健勝をお祈りさせていただきます。本当にありがとうございました。



1 階病棟 花火大会

指導主任 池 島 守

100個ほど並べられた打ち上げ花火や吹き出し花火。

およそ40台の車イスが並び、花火大会の準備完了！

開会宣言の後、夏の夜空に一齐に花火が打ち上げられていきます。

白い光と煙を発して次々と吹き出す花火に、「オー、スゴ〜イ」の歓声とどよめき。

空高く打ち上げられる15連発の打ち上げ花火に、「1. 2. 3 . . .」のかけ声。

職員といっしょに手で持つ手持ち花火に、「キレ〜」の感動の声。

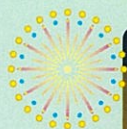
地面の数か所にとるガラスの中のキャンドルの灯りを静かに見つめる幼い子ども。

和倉の花火大会には到底及びませんが、間近に見る光、音、匂い、そして、病院のたくさんのボランティア職員の温かい気持ちは、一人一人に届き楽しい思い出になったことでしょう。

重い障害を持った患者さんは、ことばの意味を理解して回りの状況を理解するより、話し手の口調や声のトーン、表情、まなざし、関わり方をトータルで感じ取り「自分が回りから大切な存在として扱われているか否か」を感じ取っていると思われる。たとえ話さなくてもトータルで周囲の状況を理解している患者さんに、このような楽しい行事や心地よい環境を提供していくことが一人一人の笑顔を引き出していくことにつながると考えています。

楽しかった花火大会も終わり、ベッドに向かう患者さん一人一人の瞳の奥にはきれいな花火が映っているでしょうか。

楽しい思い出をそっと胸にしまって、心地よい眠りについたでしょうか。



秋を楽しむ会が開催されました!

療養介助員 坂 奈穂子

10月16日秋を楽しむ会が催されました。秋の歌の合唱やマジックショー、スペシャルゲストとして、星稜高校野球部の名誉監督である山下智茂さんによる『みんなが元気になれる話』という題で特別講演会がありました。

患者Mさんの「野球を実際に見たい。」との夢の実現の為に、当院池島指導主任と七尾特別支援学校の山花教諭の共通の友人である星稜高校野球部保護者会会長さんの協力により、甲子園予選石川県大会の開会式と第一試合を県立野球場で観戦する事ができました。Mさんは、夢の実現に向けて、重症心身障害児（者）病棟特有の埋込式トイレでの排泄から車椅子に乗車したまま安楽尿器で排泄できるように、約3か月前からトイレトレーニングを重ねてきました。その結果、七尾病院から石川県立野球場までの往復約3時間の移動を行い、野球観戦する事ができました。その時のご縁で、山下名誉監督が「七尾病院へ会いに行くよ。」と約束して下さい、今回の講演の運びとなりました。

講演の中で山下名誉監督は「七尾病院の職員の患者さんに対する眼差しがキラキラとしていて、すごく優しい表情だ、サービス業をする者としてプロの笑顔だ。」とおっしゃって下さいました。その言葉を聞き、心から嬉しく思い、自分達の実施している事に自信を持つ事ができ、これからも頑張ろうと思いました。

福祉の仕事はチームワークだと言われます。それぞれの職種が自分の出せる力、持っている力を最大限に発揮して、患者さんを支えるのが福祉だと思います。今回の講演を実現する事ができ、支援する中で人との関わりを深め、ひとつひとつ患者さんの希望を達成する事により、まわりの人達も笑顔で元気になっていくのだという事を学びました。



第5回西湊地区健康教室を開催して

医療社会事業専門員 上田 竜也

平成25年7月13日(土)西湊公民館で健康教室を開催し、今年も健康チェックと病院スタッフによる講演2題を行いました。

健康チェックは、血圧、酸素飽和度、血糖、体脂肪、血管年齢、肺機能年齢を測定して、最後に医師・看護師による測定値コメントと健康相談を行いました。友人同士で結果を見せ合い一喜一憂しておられる姿や、普段測定する機会の少ない血管年齢や肺機能年齢に興味を持っている方もいました。

藤村院長からは「長引く咳と痰」という演題で講演があり、呼吸器科には県内外のさまざまな地域から患者さんが来ていることに会場からは驚きの声が聞かれました。講演内容では、1週間ほどで完治する風邪症状の咳嗽と8週間以上持続する慢性咳嗽は大きく違うこと、北陸地方における慢性咳嗽の3大原因疾患は咳喘息、アトピー咳嗽、副鼻腔気管支症候群であることなど説明がありました。藤村院長が診察した症例紹介や実際のX線や検査機器の写真を表示しながら、咳には原因があり有効な治療法があることを分かりやすく話していただきました。

田本老人看護専門看護師からは「地域で支え合う健康維持～寝たきり予防について～」という演題で講演がありました。七尾市では誰かの手助けを必要とする要介護状態になる原因として認知症、脳血管疾患、関節疾患、転倒の順で多いこと、また基礎疾患で高血圧、高血糖、高脂血症、肥満症の方が多いと説明がありました。そこで寝たきり予防のために食事や口腔ケア、活動と休息、運動と体操を行い生活習慣病の予防が大切になることを話していただきました。講演の最後には座ったままできる肩や腰まわりのストレッチや簡単な体操を実際に行いました。

地域の方の参加者は45名で昨年とほぼ同数で、昨年に引き続き参加されている方もいました。講演後はさまざまな質問やご感想をいただきました、本当にありがとうございました。



健康チェック



左:田本看護師、右:藤村院長

看護師募集!

入院から在宅までの
看護を一緒に行いましょう!

*しばらく医療の現場から
離れていた方への職場復
帰を支援するための研修
を行っています。ご利用
下さい!

問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構七尾病院 看護課
(0767) 53-1890 (内線1104)



外来診療担当医表

外来受付時間 8:30~16:00

診療時間 8:30~17:15

	月	火	水	木	金
内科	横地	橋井	陳	藤村	堂下
外科				土島	
呼吸器科	藤村 (PM)	藤村 (PM)	大谷 (PM)	藤村 (AM)	堂下
ペインクリニック			松島 (AM)		
神経内科	横地	横地	横地	横地	横地
小児科			松島 (PM)	週交代制 押切 安井 高橋 城之前 (AM)	松島
消化器科	陳	陳	陳	陳	陳
皮膚科	岩永 (AM)	藤村啓 10:30~	藤村啓 10:30~	牛上 (AM)	坂田 (AM)
循環器科					上野 (AM)

※小児期の予防接種はじめ各種予防接種を行なっております。

病院概要

■医療法病床 240床
(一般病床/190床、結核病床50床)

■標榜診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、
ペインクリニック内科、外科、小児科、皮膚科、
リハビリテーション科



案内図



JR七尾線「七尾駅」下車
→北鉄バス【和倉温泉行】にて
(3.7km./約15分)七尾病院前下車
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで
病院バスの送迎あり



編集後記

第1回市民のねがい花いっぱいコンクール団体の部に出展し、七尾病院の花壇が優秀賞をいただきました。来年も皆さんに見て、喜んで頂ける花づくりをしていきたいと思っております。

医療社会事業専門員 上田 竜也